

1. 科目名 (単位数)	医療ソーシャルワーク実践論 (4単位)		3. 科目番号	SSMP3326
2. 授業担当教員	中里 哲也			SCMP3326
4. 授業形態	講義・演習		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	1 ソーシャルワーク演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修していることが望ましい。 2 将来、医療ソーシャルワーカーを目指している学生が望ましい。			
7. 講義概要	保健、医療の分野におけるソーシャルワーカーとして、疾患のある当事者や家族への心理社会的支援を行う過程で必要となる、専門的価値、知識、技術について学ぶことを目的とする。 本講義では、患者及びその家族支援、医療ソーシャルワーク実践の理論と技術を学ぶ。			
8. 学習目標	<p>本科目では、保健医療ソーシャルワークに関する制度、サービスについて学ぶだけでなく、実際の臨床の場面で即戦力となるソーシャルワーカーを養成することを目的としている。</p> <p>学習目標は以下の3項目とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床ソーシャルワークを行う上で必要となる対人援助技術全般について学び、基本的技術を習得し応用出来るようになる。 2. 医療現場におけるソーシャルワーク実践に必要な価値、知識、技術を習得し、自分の言葉で人にわかりやすく伝えることができるようになる。 3. 具体的疾患や事例に沿ったソーシャルワーク実践の展開方法について学び、考察することで自らの意見をまとめ、論理的に説明出来るようになる。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療分野のソーシャルワーカーの役割及び機能について、マイクロ/メゾ/マクロ、それぞれの視点から述べなさい (A4/3枚)。 2. チーム医療におけるソーシャルワーカーの果たすべき役割について述べなさい (A4/2枚)。 3. グループ毎に選別した疾患についてのソーシャルワーク実践をレポートにまとめる。 <p>※A4とは1,200字 (30字×40行) /枚とする。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>日本医療社会福祉協会 編『保健医療ソーシャルワークの基礎—実践力の構築』相川書房。 授業の中で配布プリント在り。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レポートについては、授業内容の理解度と考察力について評価する。 2. グループプレゼンテーションについては、発表のわかりやすさ、課題の理解度などの項目について、学生と教員の双方で評価する。 <p>○評定の方法</p> <p>授業態度 30%、レポート 20%、期末試験 20%、グループプレゼンテーション 30%として総合的に評価する。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、医療ソーシャルワーク実践における、技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中は、高い緊張感と、集中力を保って受講すること。また、積極的に参加することを望む。 2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 3. 授業中は欠席、遅刻、早退をしないこと。正当な理由なき遅刻、欠席は認めない。 4. 明らかに授業態度が悪いと判断された場合には、厳格な指導を行う。指導後も態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であってもF評価になるので注意すること。 5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作はしないこと。 6. 予習・復習を行い、授業へ臨むこと。 <p>教員は以下のことを実行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って基本的に進行。変更がある場合には別途通知する。 2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話をするとともに、専門用語はわかりやすく説明する。 3. 本科目ではディスカッションを積極的に導入し、双方向対話型の学習環境を作る。 4. 遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。 			
13. オフィスアワー	授業中に別途通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回 第2回	オリエンテーション 医療ソーシャルワーク実践の適応領域と対象分野	事前学習	医療ソーシャルワーク実践論の学習用ノートを準備する。講義を受けるうえで具体的に何を学びたいか具体的に考えて、意見をまとめてくること。	
		事後学習	学んだこと、気づきを学習用ノートにまとめる。	
第3回 第4回	医療ソーシャルワーク概論Ⅰ 医療ソーシャルワーカーの役割と機能	事前学習	第一回の授業を受けて、保健医療分野において活動しているのか要点をまとめる。	
		事後学習	学んだこと、気づきを学習用ノートにまとめる。	
第5回 第6回	医療ソーシャルワーク概論Ⅱ 医療ソーシャルワーク実践に活用される制度の理解	事前学習	ソーシャルワーカーにおける「社会資源」の意味を調べ、学習用ノートにまとめてくる。	
		事後学習	学んだこと、気づきを学習用ノートにまとめる。	

第7回 第8回	医療ソーシャルワーク概論Ⅲ 医療ソーシャルワーク実践における疾病の理解	事前学習	どんな疾病に対してソーシャルワーカーが関わっているか自己学習し、学習用ノートにまとめる。
		事後学習	学んだこと、気づきを学習用ノートにまとめる。
第9回 第10回	医療ソーシャルワーク概論Ⅳ 医療ソーシャルワーク実践における主要理論の理解	事前学習	「理論」の定義について自らの言葉で説明出来る様に学習用ノートにまとめる。
		事後学習	学んだこと、気づきを学習用ノートにまとめる。課題①の作成と提出。
第11回 第12回	医療ソーシャルワーク実践 (面接技術Ⅰ) 基本的コミュニケーションスキル (非言語・準言語)	事前学習	1回～10回までの概論について学習用ノートに要点をまとめる。
		事後学習	学んだこと、気づきを学習用ノートにまとめる。
第13回 第14回	医療ソーシャルワーク実践 (面接技術Ⅱ) 情報収集のためのコミュニケーションスキル (言語)	事前学習	第11回・12回の講義で学んだ学習要点を学習用ノートに整理してくる。
		事後学習	学んだこと、気づきを学習用ノートにまとめる。
第15回 第16回	医療ソーシャルワーク実践 (グループワーク技術Ⅰ) グループダイナミクスの実践と応用	事前学習	第13回・14回の講義で学んだ学習要点を学習用ノートに整理してくる。
		事後学習	学んだこと、気づきを学習用ノートにまとめる。
第17回 第18回	医療ソーシャルワーク実践 (グループワーク技術Ⅱ) 実際のMSW支援にグループを用いる演習	事前学習	第15回・16回の講義で学んだ学習要点を学習用ノートに整理してくる。
		事後学習	学んだこと、気づきを学習用ノートにまとめる。
第19回 第20回	医療ソーシャルワーク実践 (チーム医療及び組織の理解)	事前学習	第17回・18回の講義で学んだ学習要点を学習用ノートに整理してくる。
		事後学習	学んだこと、気づきを学習用ノートにまとめる。
第21回 第22回	医療ソーシャルワーク実践 医療ソーシャルワーク実践をソーシャルアクション (マクロ実践) に繋げる	事前学習	第19回・20回の講義で学んだ学習要点を学習用ノートに整理してくる。
		事後学習	学んだこと、気づきを学習用ノートにまとめる。課題②の作成と提出。
第23回 第24回	グループプレゼンテーション準備	事前学習	第21回・22回の講義で学んだ学習要点を学習用ノートに整理してくる。
		事後学習	グループ毎にプレゼンテーションに向け継続的に準備を行う。
第25回 第26回	グループプレゼンテーション準備	事前学習	グループプレゼンテーションに向け準備を進めてくる。
		事後学習	グループ毎にプレゼンテーションに向け継続的に準備を行う。
第27回 第28回	グループプレゼンテーション	事前学習	プレゼンテーションが滞りなく実施出来る様準備を行う。
		事後学習	学んだこと、気づきを学習用ノートにまとめる。
第29回 第30回	振り返り／まとめ	事前学習	第28回までに学んだことを学習目標と照らし合わせ学習達成度について整理してくる。
		事後学習	医療ソーシャルワーク実践論での学びを振り返り、ソーシャルワーク演習Ⅳ、Ⅴに向けた自己課題をまとめる。
期末試験			